

担い手育成特定資産事業 活用事例紹介 石川 圭さん（平泉町）

取材担当 一関農業改良普及センター 伊藤 安紗実

平泉町に新規就農した石川圭さんをご紹介します。

石川さんは東京の農業ベンチャー企業に勤務したのち、平泉町出身のご主人・智之さんと共に岩手県へ移住。就農に向けて農の雇用事業を活用する農業経営体で2年間研修を受け、令和5年から平泉町でなすの栽培を始めました。今年はハウス14aでなすを栽培し、智之さんと協力しながら農業を営んでいます。

石川さんは令和5年度新規就農スタートアップ支援事業を活用して、中古ハウスの移設と修繕を行いました。就農時はハウスと露地トンネルの2つの作型を組み合わせていましたが、ハウス導入によってハウス作型に一本化しました。事業の活用について、「ハウス栽培の面積を増やそうと考えていたところ、今回の事業で導入できたので、良かったです」と石川さんは語ります。

農協の生産部会活動にも積極的に参加されている石川さん。今後も地域の頼れる担い手として、ご夫婦での活躍が期待されます。



事業を活用して導入したハウス



お子様と一緒になすを見つめる石川さん